

1、今度ぜひ教えていただけませんか

山田先生

お久しぶりです。寒くなってきましたが、いかがお過ごしですか。

私は元気です。勉強やアルバイトでお忙しい毎日です。日本語だけでなく、専門の勉強が難しくなってきたりちょっと大変ですが、頑張っています。

最近は言語学の勉強が面白いです。その授業で今度、一つのテーマについて学生一人ずつ順番に発表をすることになりました。私のテーマは方言についてです。このテーマが自分の担当になった時、先生のことすぐに頭に浮かびました。先生が前、日本語学校で、方言についてのお話をしてくださったときのことを思い出したんです。

今、私も、図書館やインターネットで調べているところですが、少しわからないことがあります。先生に色々とお聞きしたいことがあるのですが、今度ぜひ教えていただけませんか。

お忙しいとは思いますが、いつか先生のお時間があるときに学校へ伺いたいと思っています。先生の都合の良い時を教えてください。よろしくお願いします。ではお返事お待ちしております。

山田先生：はい、もしもし。

アラン：もしもし、山田先生ですか。日本語学校でお世話になったアランです。

山田先生：ああ、アランさん、久しぶりですね。元気ですか。

アラン：はい、元気です。実は先生にお願いがあって、お電話しました。

山田先生：なんですか？

アラン：日本語で小論文を書いたんですが、書き方がよくわからないところがあるんです。

山田先生：そうですか。

アラン：一度に先生に読んで頂きたいのですが、先生、いつかお時間ありませんか。

山田先生：そうですね。今週はちょっと忙しいけれど、来週の月曜日なら時間がありますよ。

アラン：そうですか。じゃあ、授業が終わった頃、学校へ伺ってもいいですか。

山田先生：はい、じゃあ4時半頃きてください。

アラン：ありがとう御座います。では月曜日に伺います。

山田先生：わかりました。じゃあ、月曜日に会いましょう。

アラン : はい。では失礼します。

H2 2、今日は早く帰らせていただけませんか。

「風邪気味」

今井: すみません、小林さん。

小林: 今井どうした。大丈夫か、顔色が悪いぞ。

今井: ええ、少し風邪気味なので、今日は早く帰らせていただけませんか。

小林: そうか。今晚からまた寒くなるようだし、今のうちに帰ったほうがいいよ。

今井: すみません、最近体力が無くなってきて、すぐ熱が出たり、喉が痛くなったりするんです。

小林: そうか。まあ、無理をしないで、体調管理はしっかりしろよ。

今井: はい、気をつけます。

小林: 何か急ぐ仕事は.....

今井: ありがとうございます。今日は特にありません。

小林: うん、分かった。じゃあ、お大事に。

今井: はい、じゃあすみませんが、お先に失礼いたします。

学生: 店長、アルバイトのシフトのことをお願いがあるんですが、今お話してもよろしいですか。

店長: はい、どうぞ。

学生: 今度の日曜日テストがあるんですが、終わるのが夕方なので、アルバイトを休ませていただけませんか。

店長: そうですね.....いいですよ。

学生: ありがとうございます。それから、もう一つお願いがあるんですが。

店長: はい、なんですか。

学生: 実は最近、勉強が遅れ気味なので、休みを増やしていただきたいんです。

店長: う〜ん、今は月曜日だけですよね。週末は店が忙しいから、平日ならいいですよ。

学生: そうですね、ありがとうございます。じゃあ木曜日を休みにさせてもらいます。

店長：分かりました。ちゃんと勉強してくださいね。

学生：はい。では、よろしくお願いします。

H2

3、鈴木選手のおかげで、たくさん目標ができました。

鈴木選手へ

昨日は、忙しいのに会いに来てくれて、本当にありがとうございました。とても嬉しかったです。

いつも、大好きな鈴木選手の活躍をテレビや新聞で見て「すごいなぁ」と思っていました。でも、自分で野球をすることができないので、少し悲しかったです。

今、僕は、自分で立つことができません。リハビリも大変なので、あまりやりたくありませんでした。でも、昨日、鈴木選手が病院に来て、たくさん話をしてくれたので、早く自分の力で立てるように頑張ろうと思いました。

また、車椅子に乗ってもできるスポーツがたくさんあると教えてくれたので、色々調べてみようと思います。そして、鈴木選手のように、いつか僕も日本代表になって世界で活躍したいです。そのために、色々な国の言葉をたくさん勉強しようと思います。

鈴木選手のおかげで、たくさん目標ができました。本当にありがとうございました。これからも頑張って下さい。僕が退院して元気になったら、また会ってくださいね。

高

橋 大輔

岡田：小林さん、こんばんは。

小林：あ、岡田さん。どうも、こんばんは。今お帰りですか？

岡田：ええ、テストが近いので、図書館で勉強していました。

小林：大変ですね。そういえば、最近、英語の勉強はどうですか？

岡田：ええ、小林さんにいい本をいただいたおかげで、勉強が楽しくなりました。

小林：そうですか。それは良かった。

岡田：はい、本当にありがとう御座いました。

小林：何かわからない時は、いつでも聞いてくださいね。

岡田：いつもお世話になってばかりで、すみません。

小林：いえいえ、とんでもない。じゃあ、頑張ってくださいね。

岡田：はい、ありがとうございます。

H2 4、「コーヒー二つ、アイス」になっていたものから。

「間違い」

店員：ご注文がお決まりになりましたら呼びください。

ビル：はい。

ワン：時間は大丈夫ですか。

ビル：大丈夫ですよ。でも、あまりのんびりしている訳にはいきませんが。

ワン：そうですね。じゃあコーヒーだけにしましょうか。僕はホットにします。

ビル：僕は、喉が渴いてしまったので、アイスにします。

ワン：すいませーん。

店員：はい。

ワン：えっと、コーヒー二つで、一つはアイス。

店員：コーヒーお二つ……アイスですね。

ワン：はい。

店員：お待たせしました。アイスコーヒーでございます。

ビル：あの、アイスは一つなんですけど……。

店員：あ、大変失礼いたしました。伝票が「コーヒー二つ、アイス」になっていたものですから。

ワン：ちゃんと一つはアイスって言いましたよ。

店員：ただいまホットコーヒーお持ちいたしますので、お待ちください。

ワン：早くして下さいね。

渡辺：今晚、みんなで飲みに行くんだけど、あなたもどう？

佐藤：今日ですか.....。

渡辺：何か予定あるの。

佐藤：ええ、今日はちょっと.....。

渡辺：田中さんが奢ってくれるって言うから行こうよ。

佐藤：実は来週試験があるものですから、今日は家に勉強したいんです。

渡辺：でも、少しくらいならいいでしょう。

佐藤：すみません、今度の試験は落ちる訳にはいかないんで.....。

渡辺：そうなんだ、じゃあ仕方ないね。

佐藤：すみません、また今度、誘って下さい。

H2 5、湖や海もあれば、高い山もたくさんあります。

「ドイツ観光ガイド」

ドイツは、クラシック音楽の作曲家が沢山生まれたことや、美味しいワインやビールで有名な国です。

ドイツの気候は日本に似て、四季がはっきりしていますが、日本に比べて乾燥していて、梅雨もありません。冬は気温がとても低くなって、雪が積もるところもあります。

ドイツの面積は、日本より小さいですが、湖や海もあれば、高い山も沢山あります。それに、長い川が沢山流れていて自然がとても綺麗です。そして、この美しい自然と、その中に建てられた中世のお城をめぐるツアーが大人気です。料金は一人80～100ユーロです。

さらに、ドイツは交通も、鉄道、タクシー、バス、地下鉄などがあってとても便利なので、皆さんぜひ遊びにきて下さい。

先生：ワインさん、アルバイトにはもう慣れましたか。

学生：はい、大分慣れましたが、毎日覚えることが多くて大変です。

先生：そうですか。ご飯はちゃんと食べてますか。

学生：昨日は家に帰ったらお米もなければ、卵もなかったので、晩御飯はコンビニで、お弁当を買った来て食べました。

先生：そうですか。でも毎日続くと、あまり良くないですね。

学生：はい。日本に来たばかりの頃に比べて、最近はいい加減になってきました。

先生：それは良くないですね。

学生：自分でも、このままではいけないと思っているんですが。

先生：そうですね。できるだけ自炊の方がいいかもしれませんね。

学生：はい、明日からそうします。

H2 6、「ドーン」という音がして、家が揺れ始めました。

突然、「ドーン」という音がして、家が揺れ始めました。

地震が起きた時、ちょうど、晩御飯を作っていたので、ガスを使っていました。私は最初の「揺れ」で転んでしまったので、何もできませんでした。

10秒くらいで最初の「揺れ」は終わりました。部屋を見ると、漫画やらCDやらが棚から落ちていて、テーブルの上にあった、飲みかけのお茶が全部こぼれていました。それを吹いている時、ガスを使っていたことを思い出しました。火を消えていましたが、慌ててガスの元栓を閉めて、窓を開けました。本当に火事にならなくて良かったです。

その後、テレビの横の棚から落ちた漫画を、しまい終わらないうちに、また揺れ始めました。「余震」です。今度は右手でテレビを押さえて、左手で棚を押さえて、「揺れ」が終わるのを待ちました。そして、すぐにテレビをつけました。

ニュース速報

東京23区 震度5、マグニチュード6.2

東京都西部 震度4

千葉、神奈川 震度4

震源地 東京湾

沿岸部にお住まいの方は津波に十分ご注意ください。

「ピンポン」

キム：ゴメンください。

パク：あ、キムさん。いらっしゃい。狭いですけど、どうぞどうぞ。

キム：お邪魔します。いい匂いがしますね。

パク：今、コーヒーを入れてまして。どうぞ、上がって下さい。

キム：これ、途中のケーキ屋で買ってきたんです。どうぞ。

パク：ありがとうございます。すぐ用意しますね。

キム：わあ、日本の小説が沢山ありますね。

パク：ええ、日本語の勉強のために買ったんですが、まだまだ読みかけなんです。

キム：そうなんですか。

パク：私は本が好きで、実家にも沢山あるんですよ。自分の部屋は本だけで寝る場所もないんです。

キム：本当ですか。すごいですね。

H2 7、男性より女性の方が沢山買いに来たということです。

「市場拡大」

去年、日本で一番売れた本は、女性の作家が書いた「働く先生」と言う本でした。この本は、12月に100万部を超えたそうです。さらに、今月になってもまだまだ売れているそうです。

書店の店員さんの話によると、この本を買う人は、若い女性だけではないそうです。男性サラリーマンや、学生にも大変人気があるということです。

また、この夏、日本で一番売れたビールは、「神戸ビール」の「夏なま」でした。

スーパーの店員さんの話によると、このビールは、今までのビールに比べて、とても柔らかい味なので、男性より女性の方が沢山買いに来たということです。

本も、ビールも、一番売れた理由は、新しいお客さんができたからだったようです。

道子：ねえ、ジョージさんのこと聞きましたか。

ワン：えっ、ジョージさんのことって、何の話ですか。

道子：マリアさんの話によると、ジョージさんは国に帰るそうですよ。

ワン：えっ、本当ですか。

道子：ええ、マリアさんの話では、国で就職が決まったということです。

ワン：ええっ。すごいですね。確かジョージさんは、日本に恋人がいましたよね。

道子：ええ、私も聞いたことがありますよ。

ワン：ジョージさんが国に帰ったら、恋人はどうするんですか。

道子：結婚するんじゃないですか。

ワン：えっ、本人に聞いたんですか。

道子：いいえ、でも婚約しているそうだし、間違いないですよ。

ワン：そうですか、羨ましいですね。

H2 8、テストがあるたびに慌てて勉強をします。

質問：「勉強する時間がありません。」 name: エックス

私は学校が終わってから、アルバイトに行きます。一週間に六日、夕方6時から10時まで、一日4時間働いています。大変なのは店に行くまで1時間半くらいかかることです。昨日は店が忙しくて本当に泣きたいくらい疲れましたが、日本で進学するために頑張っています。最近、テストがあるたびに慌てて勉強をします。テストの前日は、寝ないで勉強するので、テストの時間に眠くなってしまいます。何かいい勉強方法があったら、教えて下さい。

Re: 「勉強する時間がありません。」 name: リン

私も以前、エックスさんと同じようにアルバイトが忙しくて、勉強する時間がないと思っていました。でも、「1日30分の日本語」は、1日たった30分、CDを聴くだけなので、学校へ行く電車の中や、アルバイトへ行くときでもできます。私はお風呂に入っているときでも聞いていたので、びっくりするくらい日本語がわかるようになりました。もし良かったら、試してみてください。

Re: Re: 「勉強する時間がありません。」 name: エックス

りんさんありがとうございました！明日買いに行ってみます。

カルロス：知ってる？パクさんは、歌手になるために日本に来たんだって。

ビル：うん、週末はボイストレーニングに通ったり、オーディションを受けたりしているらしいよ。

カルロス：すごいね。本気で歌手になりたがっているんだね。

ビル：そうだね。目標があるから毎日楽しいって言ってたよ。

カルロス：頑張ってるんだね。

ビル：カルロスさんは、会うたびに「することがなくて暇だ」って言うけど、色々試してみたら？

カルロス：そうだね。僕にできることって何かなあ。

ビル：何でもいいからやってみたらどう。

カルロス：うん、じゃあ、アルバイトでも始めてみようかな。

H2 9、ビールと言うと、ドイツをはじめ、ヨーロッパが有名です

「とりあえずビール」

日本人は、ずっと昔から、美味しい米と綺麗な水から、お酒を作ってきました。「日本酒」と言うお酒です。日本の文化を代表する日本酒は、アジアをはじめ、世界中で有名です。

しかし、今、日本では店でお酒を飲むとき、みんな「とりあえずビール」と言って、まずビールを注文します。日本人がビールを飲む理由は、日本酒よりアルコールが少なく、値段も安いので、沢山飲めるからだと思います。

ビールと言うと、ドイツをはじめ、ヨーロッパが有名ですが、世界で一番ビールを作っている国は中国だそうです。中国でビールが作られたのは1990年ごろからです。最初に青島にビール工場ができて、そこから広がりました。

最近では、中国をはじめ、ロシアやブラジルなど、いろいろな国がビールを作るようになりました。そして、日本にいても、いろいろな国のビールが飲めるようになりました。これも、「珍しいもの」が好きな日本人が、日本酒よりビールを沢山飲む理由の一つだと思います。

リ　　ー：日本ではアメリカをはじめ、オーストラリアやニュージーランドなど、英語を話す国に留学する人が多いそうですね。

山田先生：ええ。英語ができると就職に役立つことがあるから、日本人にとって英語は身近なものなのでしょう。

リ　　ー：でも、日本に留学してくるのは、中国をはじめ、アジアの国の人が多いですね。

山田先生：そうですね。アジアの人には、日本語ができるということが就職に役立つことがあるからでしょうね。

リ　　ー：うん、そうですね。

山田先生：最近では小学校や中学校でも日本語を勉強していると事もあるんですよ。

リ　　ー：へえー。小学校の時からもう日本語を勉強するんですか。

山田先生：すごいですよね。ところで日本語とえば、今、インターネットで「日本人のための正しい日本語のテスト」が受けられるらしいですよ。

リ　　ー：えっ、日本人が日本語のテストを受けるんですか。

山田先生：はい、皆あまり点数が良くないそうです。

リ　　ー：本当ですか、面白いですね。

H2 10、私は良く男っぽい性格だと言われます。

「自己PR」

私は良く男っばい性格だと言われます。男性の友達も多いです。声が大きい上に、よく笑うので、うるさいと言われる事もありますが、自分ではそれは元気があっていい事だと思っています。家族がみんな明るいので、私も自然にことになりました。また、私は長女で、幼いときから2人の弟たちの面倒を見てきたため、友達に対しても世話を焼いてしまうことがあります。

販売の仕事は、声が大きくて話すことが大好きな私のためにあるような仕事だと思って、サービス業の中でも一番興味を持っていました。絶対に自分に向いていると、自信を持って頑張っていきたいと思います。

スタット：あなたのお兄さんは何をしていますか。

今 井：兄は私の二つ上で、今、大阪市の消防士をしています。

スタット：消防士ですか。大変そうな仕事ですね。

今 井：ええ、両親は、兄は飽きっばいから長く続くわけがないと思っていたようです。

スタット：働いてどのくらい経つんですか。

今 井：今年は3年目です。仕事が忙しくて、調子が悪くてもあまり休めないそうです。

スタット：そうですか。じゃあ遊ぶ時間なんてほとんどないでしょうね。

今 井：はい、そうらしいです。でも、好きな仕事だから毎日楽しいって言ってますよ。

H2 11、定員になり次第締めさせていただきます。

「外国人のための就職セミナー」

池袋駅前ABCビル5Fイベントホールにおいて、日本に住んでいる外国の方のための就職説明会を行います。たくさんの企業が来て、いろいろな話をして下さいます。当日は、実際に日本の企業で働いている外国の方にお話をしていただくことになっています。そして皆様からいろいろな質問をしていただく時間も設ける予定ですので、ぜひ参加して下さい。

山田先生：それでは今日の授業はこれで終わります。それから、来週の月曜日に試験を受けることになっている人は、朝8時に新宿駅に集合して下さい。

パ　ク：新宿駅ですか。学校じゃないんですか。

山田先生：そうです。駅の南口に集合して下さい。私がいます。

パ　ク：試験は何時からですか。

山田先生：大学の1号館において、9時から行われます。

パ　ク：試験が終わったら、みんなで一緒に帰りますか。

山田先生：いいえ、終わり次第、自由に帰っていいですよ。

パ　ク：はい、分かりました。

山田先生：遅れると試験会場には入れないことになっているので、気をつけて下さい。

パ　ク：はい、分かりました。先生、さようなら。

H2 12、同じ国の友達を沢山作った方がいいと思います。

「ある韓国人留学生の意見」

私は今、日本語学校で日本語を勉強しています。私は、日本に来てすぐに韓国人の友達を作って、一緒に住むことにしました。

私がわからない言葉も、韓国語で教えてもらえるのでとても分かりやすいです。学校の先生は日本語しか話さないで、よく分かりません。だから、授業中も、その友達と韓国語で分からないところを話し合いながら勉強しています。

週末は一緒に買い物に行ったり、カラオケに行って韓国の歌を歌ったりしています。最初は少し不安だったけど、友達がいるので、今はとても楽しいです。皆さんも、同じ国の友達を沢山作った方がいいと思います。

「Aさんの意見」

私はこの意見に賛成です。私が通っている日本語学校は中国人が多いので、先生も中国語ができなければならないと思います。中国語で説明するから難しいです。私としては、中国語に訳して説明してほしいです。同じ国の友達がいれば、日本の生活もあまり困らないので、私はこの意見に賛成です。

「Bさんの意見」

私はこの意見に反対です。私はアメリカ人ですが、たとえ私が韓国人だとしても、韓国人の友達を作るより、日本人や違う国の友達を作りたいと思います。難しい日本語を、簡単な日本語や絵で説明してくれる授業はわかりやすく、よく覚えられます。日本にいるのに、英語で生活しても意味がないと思います。だから、私としては、この意見に賛成することはできません。

小野：ねえ、中村さん、夏休みの旅行の予定を早く決めましょうよ。

中村：そうですね。早くホテルの予約をしなければならないですからね。

小野：私としては、四国に行きたいです。

中村：ええっ、四国のどこですか。

小野：高知です。高知でクジラやイルカを見ることができるらしいし、多くて綺麗な川でカヌーにも乗れるらしいですから。

中村：でも、たとえ海に行っても、ぐじらはいないかもしれませんよ。

小野：そうですけど。でも、もしいたらすごいですよ。どうですか。

中村：そうですね。私としては、夏の北海道にも行って見たいんですよ。

小野：でも、北海道は冬休みにスキーをしに行こうって言っていたじゃないですか。

中村：うーん、そうですけど。じゃあ、夏は四国に行きますか。

小野：やったー。中村さんも絶対楽しいと思いますよ。

H2 13、私にとって最高の出会いは、マイケル先生にあったことでした。

「忘れられない言葉」

今年、初めて担当したクラスの学生が、大学に合格しました。「先生、先生のおかげで大学に受かりました。」と、職員室で嬉しそうに話してくれました。私はとても嬉しかったです。私はこの言葉を聞いて、ある人のことを思い出しました。

4年前、私はイギリスのリヴァプールという町に留学していました。小さい頃から、新聞記者になりたいと思っていたので、大学でマスコミの勉強をして、英語の勉強をするためにイギリスへ行きました。リヴァプールはとても賑やかな町でした。しかし、大きな森をはじめ、沢山自然があって驚きました。

学校では、いろいろな人と出会いました。ブラジルや韓国の友達もできました。その中で、私にとって最高の出会いは、マイケル先生に会ったことでした。話すことが苦手だった私に対して、マイケル先生はいつも「話したいという気持ちさえ持っていれば大丈夫です」と励ましてくれました。それから、毎日マイケル先生と話をしました。

リヴァプールでの三か月はあっという間に終わりました。私はこの経験を絶対に忘れまいと誓いました。そして、日本に帰ってきて、私は就職しました。

留学していなければ、マイケル先生にあっていなければ、私はきっと教師にはなっていなかったでしょう。

岡田：山本さんは、今、付き合っている人がいるんですか・

山本：え、今はいませんよ。

岡田：山本さんの好きなタイプの人って、どんな人なんですか。

山本：そうですね。優しい人かなあ。優しい人が一番ですね。岡田さんはどうですか。

岡田：私は顔さえよければそれでいいですね。やっぱり格好いい人が一番です。

山本：顔ですか。

岡田：隣のクラスの木村さんって格好いいですよ。私のタイプなんです。

山本：木村さんですか。私は中居さんの方が好きですよ。

岡田：えー、どうしてですか。

山本：中居さんは誰に対しても優しいし、明るくて一緒にいて楽しいですよ。

岡田：そうですね。何が一番かは、人によって違いますね。

14、おじいさんを安心させて他方がいいと思います。

H2

私は、日本の優れた医療技術を学ぶために、日本に来て、日本語学校で日本語の勉強をしています。この学校を卒業したら、大学へ入って専門的な勉強をしようと思います。そのために、来月の日本留学試験を受けなければなりません。だから、今は、アルバイトをする代わりに、毎日沢山勉強しています。

ところが、先週、シンガポールに住んでいる祖父が病気になって入院してしまいました。私は心配だからすぐ帰ると言いましたが、父は、祖父はまだ元気だし、病院に母がついているから、帰ってくるなと言いました。

もし、今帰ったら、今年は試験が受けられないので、大学に入るのは再来年の4月になってしまいます。ビザの期限も切れてしまいます。でも私小さい頃から祖父が大好きでした。日本へ行くと決めたのも、祖父が頑張れと言ってくれたからでした。

日本にいても祖父が心配で勉強に集中できません。帰った方がいいでしょうか。

「アドバイザー B 26歳 日本」

お父さんも、倒れたお爺さんも本当はすぐあなたに帰ってきてほしいと思います。でも、あなたの夢は、家族みんなの夢でもあります。

みんなあなたが日本で一生懸命頑張っていることを知っています。だから、今は、試験を諦めて国へ帰るより、お爺さんが元気なうちに、大学に合格して、おじいさんを安心させた方がいいと思います。

そのために、今は国へ帰れないのを悪く思うことはないですよ。その気持ちは家族なら絶対にわかってくれます。だから今は、勉強を頑張るしかないと思います。

そして、大学が決まったら、すぐに元気な姿をお爺さんに見せてあげて下さい。きっと喜んでくれると思います。

スタット：私は漢字が苦手なんですが、何かいい勉強方法はありませんか。

今 井：そうですね.....でも、難しい漢字が書けなくても心配することはないですよ。

スタット：そうですか.....。でも、最近書類を書くことが増えたので、沢山覚えなければならぬんですよ。

今 井：実は私も漢字は苦手だったんです。学生の際は、「新しい漢字を10回ずつ書け」と言われました。

スタット：それで、漢字が書けるようになりましたか。

今 井：いいえ、それが大変で嫌になったんです。

スタット：ははは。よくない勉強方法ですね。

今 井: はい。でも、ただ書く代わりに、毎日考えながら本や新聞を読むことを続けてから、分かるようになりましたよ。

スタット: そうですか。勉強は続けるしかないですね。

今 井: そうですね。諦めないで頑張ってください。

H2 15、今日午後 3 時現在、中部地方を通過中です。

「天気予報」

昨夜から今朝にかけて、九州、四国地方に上陸した台風 10 号は、今日午後 3 時現在、中部地方を通過中です。夕方から夜にかけて、ゆっくり東に進み、今晚 9 時ごろから、東京を中心に関東全域に強い雨を降らせるでしょう。

1 時間の降雨量は東日本で 30 から 50 ミリ、太平洋側の多いところでは 50 から 80 ミリにまでなる恐れがあります。沿岸部では、高波になったり、また低地では河川が増水したりするかもしれませんので十分注意して下さい。

台風 10 号はこの後、明日の朝には太平洋沖に抜けて行って、温帯低気圧に変わるでしょう。しかし、今後とも台風情報に注意して下さい。

ビル: リーさんは、この学校を卒業したら、どうするんですか。

リー: うーん、最近いろいろなことに興味が出てきて、迷ってしまっているんです。

ビル: 進路を決めるときは、どんな仕事に就きたいのか考えておいた方がいいですよ。

リー: というと.....。

ビル: 簡単に学校を選んでしまうと、就職するとき困りますよ。入りたい会社と自分の専攻が全く関係なかったということもありますから。

リー: なるほど。ビルさんはどうするんですか。

ビル: 私は将来レストランを開きたいので、料理の勉強をしようと思って日本にきました。だから調理専門学校に入ることに決めています。

リー: そうなんですか。ちゃんと考えているんですね。

ビル: ええ、リーさんも3年後、5年後のことを考えておいた方がいいですよ。

リー：そうですね、進路を決めるのは、よく考えてからにします。

H2 16、街の様子は、時代と共に変わっていきます。

街の様子は、時代と共に変わっていくのに、紅葉荘は創業以来ずっとそのままの姿で皆様に愛されてきました。自慢の露天風呂から見えるライトアップされた紅葉は、時間が経つのを忘れさせます。

去年、テレビで紹介されて以来、「美人の湯」と呼ばれている肌に良い温泉は、毎日沢山の人が訪れるようになりました。季節が変わるとともに、港から送られてくる食材も変わるので、夕食は何が出てくるが楽しみにしててください。

先輩：ああ、懐かしい。

後輩：そうですね。何年ぶりですか。

先輩：引っ越して以来一度も来ていないから、ちょうど10年ぶりだね。

後輩：10年ですか。いろいろ変わったでしょう。

先輩：うん。特にあの駅前のスーパーはすごいね。

後輩：ああ、あれは2年くらい前に、駅の拡張に伴ってで来たんですけど、何でもあるし、安いし、大人気なんです。

先輩：他には何か変わった？

後輩：あとは、私たちが通っていた第三小学校が無くなってしまいました。

先輩：えっ、本当。

後輩：少子化と共にクラスも減ってしまって、第一小学校と一緒になったんです。

先輩：そうか……。寂しいなあ。

17、警察官は私の言葉を聞いた途端、にっこりと笑いました。

「光太郎の家出」

.....しばらくして、玄関のドアが開きました。

「ごめんください、警察です。」慌てる様子もない、とても優しい警察官の声を聞いた途端、私は涙が溢れてきました。

「どうもすみません。私のせいなんです.....。私があんな酷いことを言ったばかりに、子供がいなくなってしまったんです。」私の声は震えていました。そして、警察官はゆっくりと話し始めました。

「お母さんにとっては、何でもないことかもしれませんが、子供にとっては、母親との会話というのは、とても大事なんです。あなたが子供の頃はどうか。いろんなことをお母さんに聞いてもらいたいのと思っていませんか。」「.....はい。そうですね。ちゃんと聞いてあげればよかったです。」警察官は私の言葉を聞いた途端、にっこりと笑いました。

そして、玄関の外に向かって、「聞いた？ お母さん、お話しちゃんと聞いてくれるって」。と言いました。すると、玄関の外でコソコソと動く影が、家の中に入ってきました。

「本当に？」光太郎が顔を見せたのです。

「ああ、光太郎」。私はすぐに光太郎を抱きしめました。

「私が交番で書類を書いているところへこの子がひょっこり現れて、お巡りさん、お母さんは僕のことが嫌いなんだっていうんです」。

「ばか、お母さんは光太郎のこと大好きよ。ごめんなさい、本当にごめんなさい。」

「よかったね、光太郎君。お母さん、光太郎君のこと大好きだって」。

「うん。お巡りさん、ありがとう」。光太郎は手をふって警察官を見送りました。

警察：財布を盗まれた時のことを話していただけますか。

学生：ええ、電車の中でちょっと居眠りをしたばかりに、財布を取られたんです。

警察：財布を盗まれたことに、いつ気がついたんですか。

学生：電車を降りて、切符を精算しようとしたところで気がつきました。

警察：そうですか。気をつけて下さいね。

学生：ええ、これからは電車の中で寝ないようにします。

先生：恋人にふられた時のことを覚えていますか。

学生：ええ、2年前なんですけど、大変だったので、今でもよく覚えていますよ。

先生：えっ、何があったんですか。

学生：それが、一週間、連絡をしなかったせいで、恋人を怒らせてしまったんです。

先生：そうですか、それでどうしたんですか。

学生：それ以来、恋人には会っていませんよ。

H2 18、インターネットを一週間にどのくらい使いますか。

この二つのグラフは、私が、先月学校の課題で、友達や家族や街の人に、「インターネットを一週間にどこくらい使いますか。」という質問をして、その答えをまとめたものです。

まず「一週間に何日くらい使うか」を聞きました。グラフ1によると、日数が多くなるにつれてだんだん人数が増えます。しかし、3～4日の後は、日数が多くなるにつれて人数が減っていくことがわかります。一週間に1日も使わない人がいることもわかりました。

次に、「毎日使う」と答えたに「年齢」を聞きました。割合が増えたのは10代から20代に年齢が上がったときだけで、後は、年齢が上がるに従って割合は減る一方でした。

でも、60代の人の中にも、毎日使用している人がいて驚きました。私は、時代が進むにつれて、この割合はどんどん増えていくと思いました。

山田先生：どうしたんですか、暗い顔をして。

リ　　ー：最近、少し悩んでいるんです。

山田先生：どうかしたんですか。どんな悩みですか。

リー：日本語が上手になるにつれて、日本人の友達ができると思っていました。でも、1人で勉強していても、日本人の友達できません。

山田先生：そうですか。リーさんはそのために何か努力していますか。

リー：いいえ、特に何もしていませんけど.....。

山田先生：自分から動く時間が増えるに従って、友達もできると思いますよ。

リー：そうですか.....。

山田先生：このまま何もしなければ、生活がつまらなくなる一方だと思いますよ。

リー：そうですね。じゃあ、いろいろやってみます。

H2 19、国籍と学習者のニーズに応じてクラス分けをします。

「授業を始める前に」

まず、下のようなアンケートを書いてもらいます。自分の日本語レベルや勉強したいことについて回答してもらいます。

次に、テストを受けてもらいます。このテストは、日常会話で使用する基本的な文法を中心に作られた、全50問の選択式のテストです。このテストの結果とアンケートをもとに、国籍を問わず、「文法クラス」を決めます。このクラスで日本語の文法を勉強します。

その後、学習者3、4人と集団面接をして、話す力と聞く力のチェックを行います。この面接の結果をもとに「技能クラス」を決めます。「技能クラス」は国籍と学習者のニーズに応じてクラス分けをします。

ワン：最近アメリカの有名な監督が撮影した映画を知っていますか。

道子：いいえ。高校生の時以来、映画館にも行っていません。

ワン：そうですか。でもこの映画はすごく面白いらしいですよ。

道子：どんな映画なんですか？

ワン：150年くらい前の日本が舞台なんですけど、撮影は海外を中心に行われたらしいんです。

道子：すごいですね。

ワン：はい、実話をもとにして作られているそうですよ。

道子：へえ、面白そうですね。

ワン：きっと年齢や性別を問わず楽しめると思いますよ。

道子：そうですか。久しぶりに映画館に行ってみようかな。

ワン：じゃあ、一緒にいきましょうよ。今度の土曜日はどうですか。

道子：ええ、土曜日なら大丈夫ですよ。それで、何という映画なんですか。

ワン：えーと、それが.....、忘れてしまったんですよ。すみません。

H2 20、最初のリハビリをやり抜くことができたんです。

「鈴木選手へ」

鈴木選手、こんにちは。優勝おめでとうございます。最後の試合の逆転ホームラン、テレビで見えてとても感動しました。

実は、鈴木選手と同じように僕も頑張っていたんですよ。信じ難いでしょうが、今僕は、上半身が自由に動かせるようになったので、1人で車椅子に乗れるようになりました。車椅子を動かす事さえできれば、自由にトイレにも行けるし、晴れた日は外に出る事もできます。この前、鈴木選手に聞いた話を思い出しながら、最初のリハビリをやり抜くことができたんです。来週からは、車椅子から降りて、次のリハビリをすることになっています。

怪我をする前はサボり気味だった勉強も、鈴木選手と会って以来、毎日、お母さんがびっくりするくらい頑張っています。

あれから、いろいろ調べたり、友達に話を聞いたりして、僕は車椅子のバスケットボールをやってみようと思っています。友達の話によると、いろいろな雑誌や漫画でも車椅子のバスケットボールは注目されているそうです。バスケットボールならルールもわかるし、野球と同じチームスポーツだし、楽しそうだからです。そして、僕もいつか鈴木選手のようなスター選手になりたいと思います。そのために、これからもリハビリをやり抜いて、自分に負けないように努力します。

書きたいことがありすぎて、手紙には書ききれません。だから、また会ってたくさん話がしたいです。その日を楽しみにしています。

ビル：日本に留学した記念に、何か思い出に残ることがしたいんです。

山田先生：そうですか。私は学生時代に富士山に登ったことがありますよ。

ビル：富士山ですか。何月頃登ったんですか。

山田先生：確か8月の初めだったと思います。

ビル：そうですか。富士山はどうでしたか。

山田先生：すごく疲れて、途中で歩くのが嫌になってきましたが、頑張り抜いて、登り切った時は最高でした。

ビル：すごいですね。頂上まではどのくらいかかるんですか。

山田先生：私は朝日が見たくて夜から登り始めたんですが、頂上まで10時間くらいかかりました。

ビル：えっ。大変なんですね。

山田先生：ええ、でも、雲の上から見る朝日は言葉では表せないほど美しかったです。

ビル：そうですか。私も富士山に登ってみたいくなりました。